

平成21年度第6回岐阜県事業評価監視委員会

【街路公園課所管 事後評価審議資料】

○ 公共街路事業

事後評価箇所表 . . . p. 81～

パワーポイント資料 . . . p. 83～

平成21年度事後評価箇所表

番号	事業名 (路線名等)	公共街路事業・地方道路交付金事業 岐阜都市計画道路 岐阜駅城田寺線ほか2路線	
実施箇所	岐阜市吉野町4丁目～岐阜市吉野町6丁目	当初全体事業費	1,000百万円
		最終全体事業費	980百万円
採択年度	平成15年度	完了年度	平成19年度
事業目的			

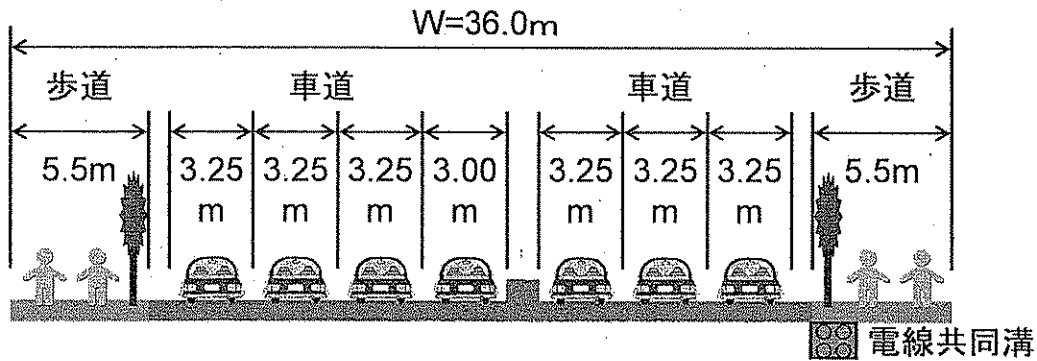
岐阜都市計画道路・岐阜駅城田寺線他2路線は、JR岐阜駅北側に位置し、鉄道、路線バス等様々な交通機能が集中する交通結節点機能を有する道路である。

当該事業箇所は、乗用車、路線バス、路面電車など数多くの交通が交錯し、慢性的な交通渋滞が発生していたため、この路線の改良や電線地中化などを進め、交通渋滞の解消及び中心市街地の活性化を図るために整備したものである。

事業概要

- 事業延長 道路 L=470m
- 車道幅員 25m (36m) 6車線
- 歩道幅員 11m (両側)

概略図



評価結果	
① 住民参加・協働による効果	
<ul style="list-style-type: none"> ① 岐阜駅周辺の交通環境改善のための整備計画を策定するため、「都市交通再編プログラム策定委員会（岐阜市）」が設立された。 ② 平成14年6月～10月にかけて地元説明会を開催し、関係住民と意見交換を行った。 	
② 事業効果	
<ul style="list-style-type: none"> ① 駅周辺の渋滞が解消された。（渋滞長最大200m程度の渋滞が解消） ② 目的地までの移動時間が短縮した、自動車運転時、歩行時等の安全・安心感が増したなど、沿線住民等の満足度が高くなった。 ③ 整備前に比べ、バスの定時性が向上し、バスの利便性が増した。 	
③ 環境面への配慮	
<ul style="list-style-type: none"> ① 車道の排水性舗装により、自動車運転時の快適性などが増した。 ② 歩道部や地下道の色調等について駅前広場整備と連携を図り、都市景観に配慮した。 	
④ 事業を巡る社会経済情勢等の変化	
<ul style="list-style-type: none"> ① 岐阜駅周辺整備により、沿線周辺には飲食店舗等が新たに立地し、人通りも多くなるなど賑わいが創出され、目標の『にぎわいあふれるまちづくり』が実現しつつある。 	
⑤ 利用者・地域住民等への効果	
<ul style="list-style-type: none"> ① アンケート調査の結果、沿線住民の約6割が満足しているとの回答が得られた。 ② 交通安全・緑化・清掃活動など、新たな住民活動を誘発している。 	
対応方針	
<p>(1) 今後の事業評価の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 周辺の交通渋滞が解消されている。 ② 周辺住民へのアンケートでは、目的地までの移動時間が短縮された、運転時・歩行時の安心感も増したなど、約6割の方から「満足」の回答を得ている。 <p>以上より、今後の事業評価の必要性はない。</p> <p>(2) 改善措置の必要性</p> <p>交通渋滞が解消し、地域住民等の満足度も高いとアンケート結果から判断されるため、改善の必要性はない。</p> <p>(3) 新規事業へ適用すべき留意点</p> <p>今後も、利用者等の満足度が高くなるよう、地域の意見を踏まえて利用者等の目線に立った事業実施を行っていくとともに、事業の重点化・効率化を図り事業効果の早期発現に努める。</p>	

(都) 岐阜駅城田寺線ほか2路線 事後評価



1

1. 事業について

(1) 都市計画道路 岐阜駅城田寺線 位置図



2

1. 事業について

(2) 事業の目的

『にぎわいあふれるまちづくり』

- ▶ 駅周辺の交通の円滑化
- ▶ 公共交通機関の利便性向上、交通結節点での乗継強化
- ▶ 安全で快適な移動性向上

整備前



整備後

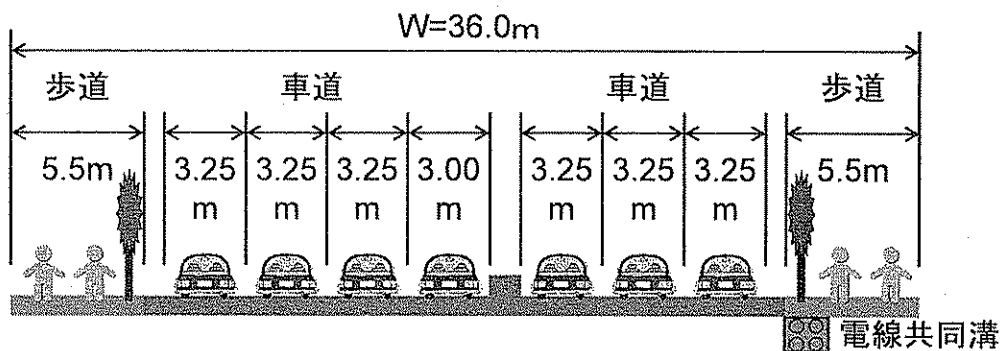


3

1. 事業について

(3) 事業の概要

事業期間	平成15年度～平成19年度
全体延長	約470m
道路規格	第4種第1級
設計速度	V=40km/h
車線数	W=36m、車道3.25m、歩道10m、6車線
総事業費	980百万円(最終) / 1,000百万円(当初)



4

1. 事業について

(4) 事業の経緯

年 度	経 緯
平成11年度	岐阜駅周辺の交通環境改善のための整備計画を策定するため、「都市交通再編プログラム策定委員会（岐阜市）」を開催
平成14年度	6月～10月にかけて地元説明会を開催（7回）し、関係住民との意見交換を実施 車線数（6車線）などを都市計画決定（変更）
平成15年度	事業認可、事業着手
平成16年度	地下横断歩道完成
平成18年度	電線共同溝完成
平成19年度	岐阜シティ・タワー43の完成に合わせて供用開始

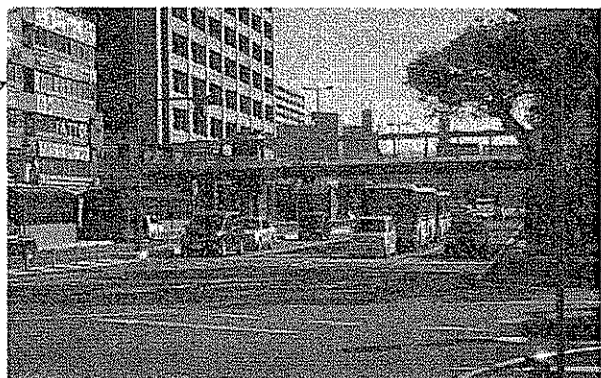
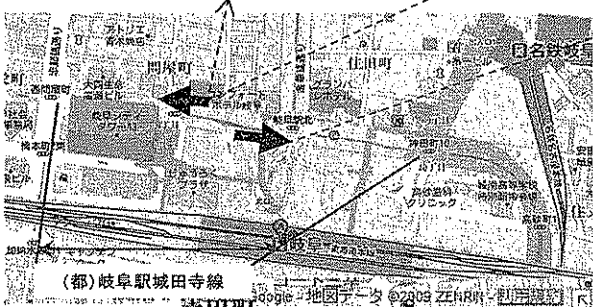
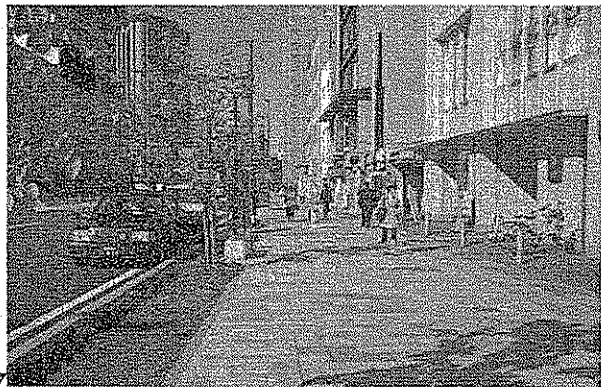
<関連事業>

- ・国道157号改良工事（H16完了）
- ・岐阜駅北口土地区画整理事業
- ・市街地再開発事業（JR岐阜駅東地区、問屋町第一地区、問屋町西部南街区、岐阜駅西地区）

5

1. 事業について

(5) 現在の状況

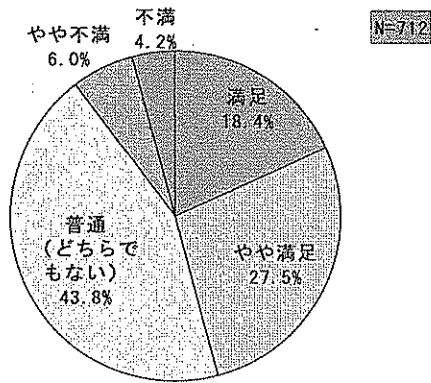


6

2. 事業の効果 (1) 移動時間の変化

目的地までの移動時間について、周辺住民の約5割が短縮されたと感じ、特に目的地が岐阜駅南側(加納地区)である方々の満足度が高い。

設問：目的地への移動時間は短縮されたか。



アンケート回答数：712人(車利用者対象)

＜岐阜中消防署へのヒアリング結果＞

- ・駅前通りが広く整備され道がきれいになった。
- ・駅前の渋滞は解消された。
- ・信号待ちの渋滞はなくなった。
- ・信号サイクルがよくなり、スムーズに走行できるようになった。

＜岐阜乗合自動車へのヒアリング結果＞

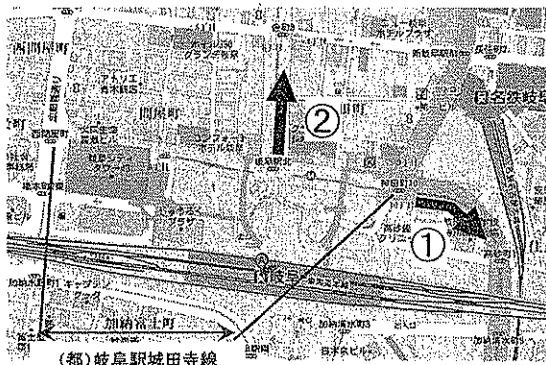
- ・整備前に比べ、渋滞が緩和され、定時運行が確保できるようになった。
- ・6車線化により走行しやすくなった。
- ・駅北口バス停が撤去されて駅前広場内のバスハースに一本化され、安全性が向上した。
- ・歩行者、自転車の信号無視、無理な横断の危険を感じるケースが少なくなった。
- ・西問屋町の違法駐車が減少した。

7

2. 事業の効果 (2) 渋滞状況の変化

(都) 岐阜駅城田寺線周辺
(断面①②) 渋滞がほぼ解消された。

平成12年
渋滞長約100~200m
平成21年
ほぼ渋滞なし



整備後の状況①



整備後の状況②



8

2. 事業の効果

(3) 安全・安心の変化

＜車を利用される方＞
 周辺住民の約6割の方が、「車と人」「車と車」の分離が図られ、安全・安心して通行できるようになったと感じている。

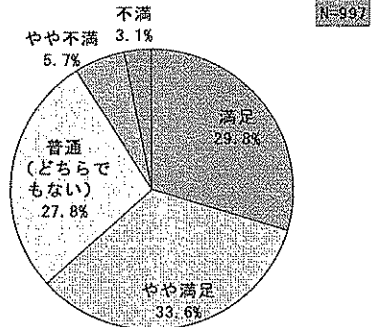
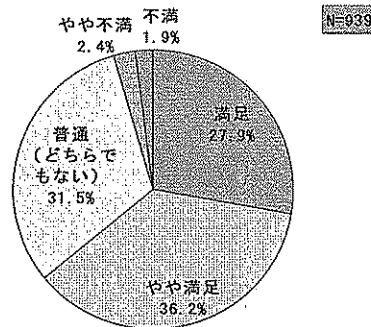
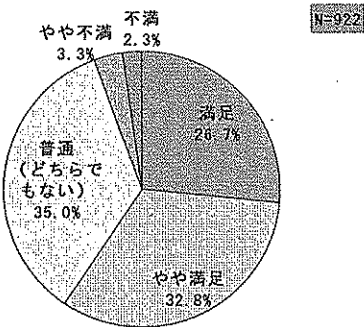
＜自転車・歩行者の方＞
 周辺住民の約6割の方が、歩道を通行するとき安全性に満足していると感じている。



設問：車と車の分離が図られ安全・安心して通行できるようになったか。

設問：車と人の分離が図られ安全・安心して通行できるようになったか。

設問：歩道を通行するときの安全性（事故の心配がないこと）に満足していますか。



9

3. 環境面への配慮

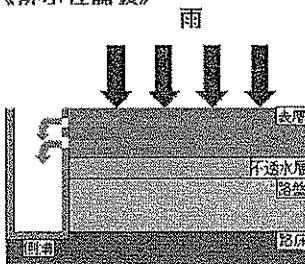
(1) 地域環境への配慮

道路の車道部を排水性舗装としたことなどにより、周辺住民の約7割の方が運転しやすさに満足している。

また、周辺住民の約6割の方が、見渡せる周辺景色に満足している。



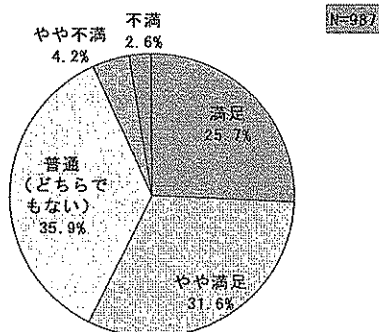
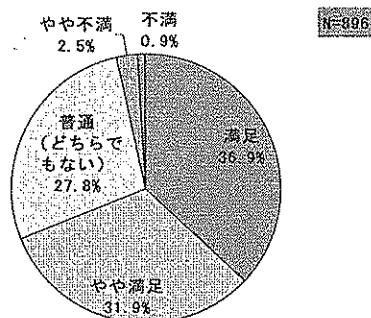
《排水性舗装》



- 排水
- 水ハネによる視界障害の防止
- 高速走行時のハイドロプレーニングの防止
- 騒音低減
- 車の走行騒音の低減
- 沿道環境の改善

設問：路面も綺麗で幅も広く、運転しやすくなったか。

設問：歩道を通行するときに見渡せる周辺の景色に満足しているか。

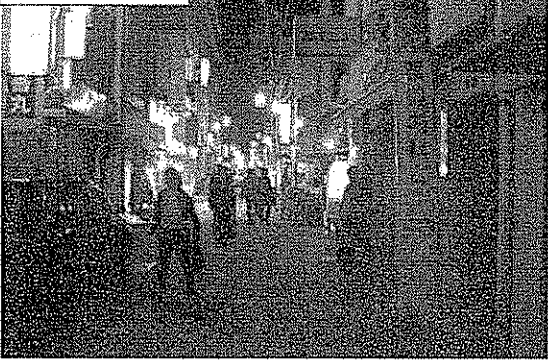


10

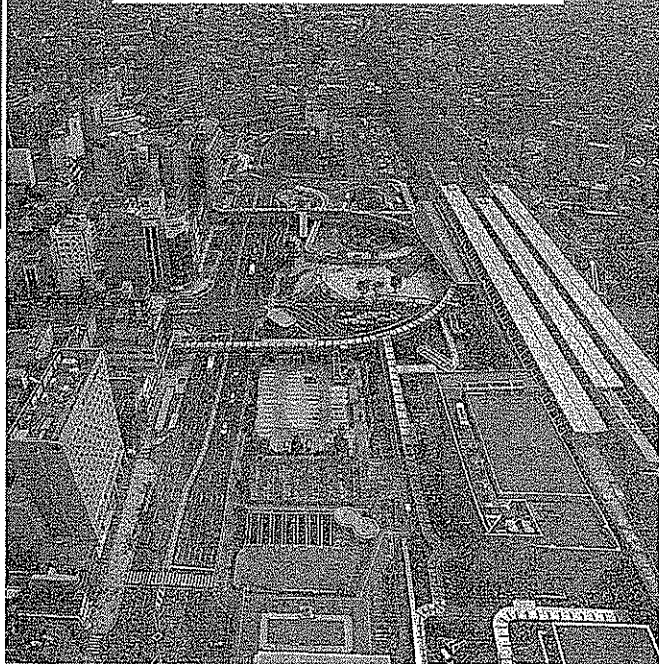
4. 事業を巡る社会経済情勢の変化 (1) 沿線地域の状況変化

岐阜駅周辺整備により、シティ・タワー内などを含めて、飲食店舗等が新たに立地し、人通りも多くなり、賑わいが創出され、目標の『にぎわいあふれるまちづくり』が実現しつつある。

玉宮町通り



シティ・タワー43から臨む

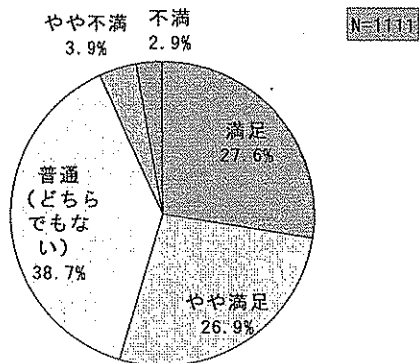


11

5. 利用者・地域住民等への効果 (1) 総合的な満足度

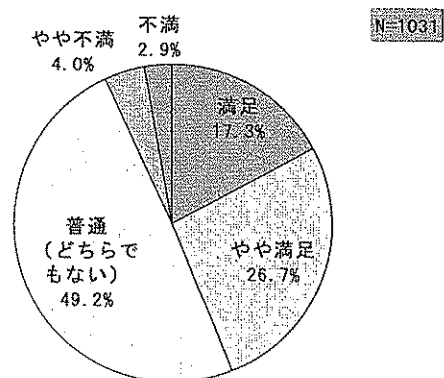
当該事業に対し、沿道住民の約6割が満足しており、それに伴い約4割が居住環境がよくなったと感じている。

設問：路線が整備されたことによる満足度はどのくらいか。



アンケート回答数：1111人

設問：地域の居住環境がよくなったか。



アンケート回答数：1031人 12

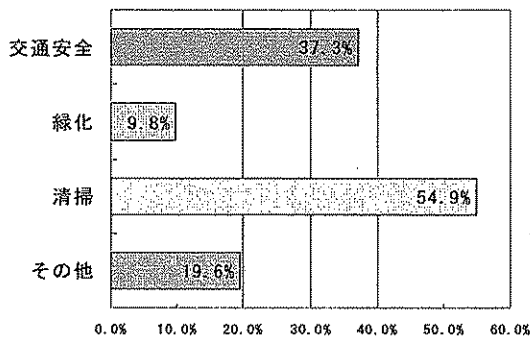
6. 住民参加・協働による効果

(1) 各種住民活動への参加状況等

事業完了後に、交通安全・緑化・清掃活動など、新たな住民活動が起きている。

設問：当該路線完成後に開始された住民活動はありますか。

N=51



＜アンケートにおけるその他の意見＞

- ▶ 岐阜駅城田寺線（JR岐阜駅北口）ではなく、駅前の顔(玄関)の道路なので、ふさわしい愛称を公募してはどうか。
- ▶ 岐阜駅と道路北地域の一体感が必要である。通行していてもこの一帯の活気がない。
- ▶ 予算の厳しい中、よくそここまで長年の計画が達成されましたことを、私共心より感謝申し上げます。
- ▶ 駐輪場が不足しているため、駐輪場を設置してほしい。
- ▶ デッキのため、自転車でのJR岐阜駅の利用が不便になった。自転車利用者にも配慮した計画をしてほしい。

13

7. 費用対効果分析

事業の効果

- ▶ 走行時間短縮便益 82%
- ▶ 走行経費削減便益 12%
- ▶ 交通事故減少便益 6%

投資的效果率

- ▶ 効果額／事業費＝ 4.4

14

8. 対応方針

今後の事後評価の必要性の有無

- ▶ 周辺の交通渋滞が解消されている。
- ▶ 周辺住民へのアンケートでは、目的地までの移動時間が短縮された、運転時・歩行時の安心感も増したなど、約6割の方から「満足」の回答を得ている。
- ▶ 以上より、今後の事業評価の必要性はない。

改善措置の必要性

- ▶ 交通渋滞が解消し、地域住民等の満足度も高いとアンケート結果から判断されるため、改善の必要性はない。

新規事業へ適用すべき留意点

- ▶ 今後も、利用者等の満足度が高くなるよう、地域の意見を踏まえて利用者等の目線に立った事業実施を行っていくとともに、事業の重点化・効率化を図り事業効果の早期発現に努める。

